

1. 第22回フォーラムを開催 (2021. 3. 13)

第22回山のトイレフォーラムを札幌エルプラザ・環境研修室で55名の参加者を迎えて開催しました。テーマは「大雪山の山のトイレを考える」です。

講演は(同)北海道山岳整備、大雪山・山守隊の代表である岡崎哲三氏が「山岳管理における民間団体のかかわり方～アイデアや実行力を行政と協働する～」でした。

また、当会の仲俣善雄事務局長が「大雪山国立公園の避難小屋トイレについて考える」を発表しました。

岡崎氏は近自然工法による登山道整備の第一人者です。整備は「生態系を復元すること」を目的にしていること。自分だけが整備をしても登山道の崩壊には追いつかない。多くの人に現状を知ってもらい、関係者・登山者との協働で整備する持続可能な仕組みを作らなければならない、とのお話がありました。山のトイレの活動も同じで、多くのヒントをいただきました。

講演と発表内容はYouTubeで、プレゼン資料とフォーラム資料集も当会のホームページで見ることができます。



2. 美瑛富士・固定式携帯トイレブースの点検パトロール実施(2021.6.27~10.3)

今年は固定ブースが設置された2年目の点検パトロールでした。北海道の山岳団体による「美瑛富士トイレ管理連絡会」による点検パトロールは下記のとおり全部で6回実施することができました。

お陰様で2015年からスタートしたテント型ブースの試行実施前と比べ、汚物とティッシュの散乱は少なくなり、避難小屋周辺は格段に綺麗になってきました。

- ・6月27日：ブース冬囲い外し(環境省・美瑛町・山のトイレを考える会)

〔点検パトロール〕

- ・7月11日：大雪山国立公園PV連絡会
- ・7月18日：札幌山岳連盟
- ・7月25日：日本山岳会北海道支部
- ・8月1日：北海道山岳連盟
- ・8月7日：山のトイレを考える会
- ・8月29日：道央地区勤労者山岳連盟(コロナで中止)
- ・9月12日：道北地区勤労者山岳連盟(コロナで中止)
- ・9月27日：北海道山岳ガイド協会
- ・10月3日：ブースの冬囲い(環境省・美瑛町・山のトイレを考える会)



テン場の汚物とティッシュを回収



荒天の中での携帯トイレブースの冬囲い作業

3. 裏旭野営指定地への携帯トイレブース設置に向けたアンケート調査の実施(2021. 7. 11~8. 29)

大雪山裏旭野営指定地にはトイレがありません。昨年の7月中旬、当会事務局運営委員4名で野営地に一泊して現地調査を実施しました。

水も豊富で景観も素晴らしい野営地ですが、身を隠す場所が殆どありません。登山者が携帯トイレを持って来ても、どこで使うか困惑する野営指定地です。

残念ながら昨年の調査では、皆さんどこで排泄しているのか掘り下げた調査はできませんでした。

そのため今年には北海道の山岳団体、自然保護団体、山岳事業者、ガイド、研究者等の賛同を得て「裏旭野営指定地携帯トイレ検討連絡会」（事務局は当会）を設立、分担して現地での登山者アンケート調査を実施しました。

アンケート調査は7団体で9回実施。回収数は宿泊者72枚、通過者95枚でした。報告書は2022年2月末までに作成し、公表する予定です。

（賛同18団体）※下線はアンケート調査実施団体

日本山岳会北海道支部・北海道山岳連盟・札幌山岳連盟
道央地区勤労者山岳連盟・NPO法人大雪山自然学校
大雪と石狩の自然を守る会・旭川勤労者山岳会

旭川山岳会・大雪山倶楽部・大雪山山守隊・NPOかむい・北海道大学（愛甲研究室）・北海道山岳ガイド協会

HAT北海道・山楽舎BEAR・大雪山国立公園パークボランティア連絡会・山のトイレを考える会



水も豊富で景観も素晴らしい裏旭野営指定地



登山者へ対面でのアンケート調査

4. 銀泉台登山口に木製の回収ボックス設置（2021. 6. 26～10. 7）

大雪山国立公園には主要登山口19箇所のうち12箇所に回収ボックスが設置されていました。今年、銀泉台登山口に新たに設置され13箇所となりました。

連絡先

（郵便）004-0061 札幌市厚別区厚別西1条2丁目3-18小枝方山のトイレを考える会 事務局
電子メール：hokkaido@yamatoilet.jp

大雪山国立公園では初めてとなる木製の回収ボックスを当会で制作、上川町に寄贈しました。今年は138個の利用があり、山岳環境の改善に寄与できたと思います。



銀泉台登山口の回収ボックス

5. 山のトイレマップ、9,000部配布（2021. 7～10）

「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」が2018年7月に発表されました。当会では、トイレ、携帯トイレブース、携帯トイレ回収ボックスの位置、登山口近くの販売店が載る山のトイレマップを作成し、各所に配備と配布をお願いしました。今回で3年目です。

宿泊施設、ビジターセンター、森林管理署、ロープウェイ会社などの協力をいただき、大雪山国立公園の15カ所で8,000部、知床、利尻山等の5カ所で1,000部、全部で9,000部配布しました。



銀泉台森林パトロール事務所の入林届記帳台

6. トムラウシ短縮路登山口に携帯トイレ配布ボックス設置（2021. 7. 9～10. 13）

トムラウシ南沼汚名返上プロジェクトでは携帯トイレを忘れた人に登山口でも入手できるように「携帯トイレ配布ボックス」を設置しました。

新得山岳会員の手造りで1個につき協力金500円で入手できます。今年度は190個の利用がありました。携帯トイレの利用がさらに促進されると期待しています。



短縮路登山口のバイオトイレに設置